

町田市スポーツ推進計画アクションプラン2014年度事業実施状況

番号	1-1		実施主体	スポーツ振興課 子育て支援課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業				
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。				
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	実施				
実施状況					
	実施				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○子育て支援課(計332回実施)</p> <p>・「保健便り」を始め、保護者への各種お便りの発行、掲示物を通して運動の重要性を伝えた。</p> <p>・保護者懇談会で、保育園での取り組みを事例に挙げながら、運動の重要性を伝えた。</p> <p>【講師による育児講座の実施】</p> <p>・ベビーヨガ・ベビーダンス・リズム遊び・体操・ストレッチ講座・生活リズムと運動に関わる講座を実施した。</p> <p>【職員による運動遊びの実施】</p> <p>・体操・リズム遊び・巧技台等大型遊具を使っの運動遊び・散歩等を通して、乳幼児期の運動の重要性を伝えた。</p> <p>○スポーツ振興課</p> <p>・地域子育て相談センターが発行するマイ保育園情報誌(2015年度版)に子育てしながら子どもといっしょに行える簡単な運動に関する記事を町田市スポーツ推進委員に寄稿してもらうこととした。</p>				

番号	1-2		実施主体	指定管理者	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業				
取り組み内容	<p>幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <p>・総合体育館:ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5~6歳児対象)</p> <p>・サン町田旭体育館:ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5~6歳児対象)</p> <p>・室内プール:幼児スクール※自主事業</p> <p>・成瀬クリーンセンターテニスコート:キンダークラス(4~6歳児対象)※自主事業等</p>				
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	4,670名	
			目標水準	5,170名	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		4,770名	4,870名	4,970名	5,070名
実施状況					
		4,348名			
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館</p> <p>4歳から就学前の幼児を対象とした体操教室を定期的実施した。延参加者数2,067名。</p> <p>○室内プール</p> <p>幼児スクールを年間を通し、5期に分け週2回の頻度で実施した(夏季期間を除く)。延参加者数1,970名。</p> <p>○成瀬クリーンセンターテニスコート</p> <p>4歳から就学前の幼児を対象としたテニススクールを実施した(通年スクールや夏休み早朝スクール等)。延参加者数311名。</p> <p>○サン町田旭体育館</p> <p>器具運動・体づくり運動およびレクレーションを中心とした教室を実施した。</p>				

番号	1-3		実施主体	子育て支援課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進					
取り組み内容	A:乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B:市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。					
事業目標	指標	A:交流会などの回数	計画初期値	—		
		B:研修回数	目標水準	A:年10回、B:年10回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成	A:年5回 B:年5回	A:年5回 B:年5回	A:年10回 B:年10回	A:年10回 B:年10回	A:年10回 B:年10回
実施状況	A:年38回 B:年5回					
2014年度の具体的な取り組み内容	A:FC町田ゼルビアのサッカー教室・大地沢の山登り・ラジオ体操の実施・マラソン大会・保護者と一緒の運動遊び(イベント行事)・長距離の散歩等を実施し、体力づくりと体を動かす楽しさを味わった。 B:運動の重要性や保育に取り入れる運動遊びを学ぶ研修に職員が参加した。					

番号	1-4		実施主体	児童青少年課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)					
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	実施	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施					
実施状況	実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	乳幼児親子を対象に、各子どもセンターにおいて、以下の事業を定期的実施した。 ○子どもセンターばあん ・ヤンチャッチャ(年間32回程度・対象:2歳から就学前までの乳幼児親子) ・キッズアタック(年間39回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ○子どもセンターつるっこ ・ぽっふんたいむ(年間58回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・ぽっふんたいむin三輪(年間10回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ○子どもセンターぱお ・ぱわぱふたいむ(年間40回・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・ぱわぱふたいむin小山(出張事業・年間11回・対象:0歳から就学前の乳幼児親子) ○子どもセンターただON ・あそぼON(年間36回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子)					

番号	1-5		実施主体	児童青少年課		
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進					
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業					
取り組み内容	<p>当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画	実施				→
実施状況	企画					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○まちとも 「まちとも」については、各学校の実施状況による実施可能な学校について検討した。 今後は、連携可能なスポーツクラブ等がある地域から実施する。</p> <p>○子どもセンター 「スポーツにチャレンジ」(スポーツ振興課と共催・5月子どもセンターぱお、6月子どもセンターつるっこで開催・対象:小学生以上とその保護者)</p>					

番号	1-6		実施主体	指導課		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業					
取り組み内容	<p>スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。</p>					
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	—	検討	実施			→
実施状況	—					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>2014年度は、スポーツ指導員登録制度の活用に関する検討が行われ、2015年度に「検討」が行われ、2016年度に「実施」が行われた。</p>					

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ	
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	食育推進事業				
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。				
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回
実施状況	年2回	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	2014年度は、地域スポーツクラブであるAC町田に業務委託し、年2回述べ参加者数49人で食育イベントを実施した。				

番号	1-8		実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会	
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	町田市こどもマラソン大会				
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。				
事業目標	指標	大会参加人数	計画初期値	1,570人	
			目標水準	2,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人
実施状況	1,893人	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	12月6日に実施し、小学3年生～6年生のランナー1,893人が参加した。				

番号	1-9		実施主体	保健企画課		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	健康づくり推進事業					
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。					
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回数	計画初期値	年1回		
			目標水準	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回			見直し実施		
実施状況	年1回					
2014年度の具体的な取り組み内容	「自分のからだを知り、楽しくウォーキング！」をテーマに、身体のゆがみチェックや身体の整え方など、楽しくウォーキングすることについて、健康づくり推進員の研修において実施した。					

番号	1-10		実施主体	健康課		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	親子栄養講習会					
取り組み内容	講習会を実施する。					
事業目標	指標	講習会実施回数	計画初期値	年1回		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回		見直し実施			
実施状況	年1回					
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツトレーナーによる運動実技と親子で遊びながら簡単にできる運動(40分)を行った。 ・参加者:親子6組。 					

番号	1-11		実施主体	健康課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→
実施状況	年1回	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>講演会を実施した。 日時:2014年10月23日(木)13:30~15:30 会場:健康福祉会館 講習室 講師:東京都以下大学八王子医療センター糖尿病内分泌代謝内科 運動士 指導士・理学療法士・日本糖尿病療養指導士 天川淑宏 講演会名:こうすればあなたも運動できる～生活の中に取り入れよう!心と体が元気になる運動～</p>				

番号	1-12		実施主体	健康課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年4回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年4回	年2回	見直し 実施	→	→
実施状況	年4回	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>・健康運動指導士による生活に簡単に取り入れられる運動実技指導(各回60分)を行った。 ・参加者:4回計47人参加(見込み)</p>				

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施			→	
実施状況	検討				→	
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。					

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 ・利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。) 					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行		→	
実施状況					→	
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>現状の把握と、利用時間延長の検討を行った。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内プール: サマータイム営業として、7/19(土)~8/31(日)の期間に午前8時30分に開館(通常は9時開館) ・成瀬CCTC: 5~8月のハードコート利用時間延長(17-19時)、7~9月の土日に早朝時間(7-9時)のコート貸出を実施した。 					

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	夜間照明施設整備事業				
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。				
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所	
			目標水準	12箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整	検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—
実施状況	検討・調整				
2014年度の具体的な取り組み内容	小野路球場への夜間照明設備の整備について、市役所内部の調整を進めた。				

番号	1-16		実施主体	指定管理者	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業				
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。				
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名	
			目標水準	2,450名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	3,976名				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館：定期的に親子体操教室を実施(対象を年齢ごとに4つに分けて実施した。延参加者数3,730名)。</p> <p>○室内プール：親子水泳教室や体操教室の実施した。延参加者数126名。</p> <p>○成瀬クリーンセンターテニスコート：2015年3月に親子テニスレッスン&ミニゲーム大会を実施予定(参加見込み120名)。</p> <p>○サン町田旭体育館：親子で行う体操およびレクリエーションを中心とした教室を実施した。</p>				

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ施設の親子利用促進				
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。				
事業目標	指標	スポーツ施設の親子 利用促進	計画初期値	事業実施	
			目標水準	継続	
実施計画	実施 施設PR方法 の検討	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
					2018年度
実施状況	実施				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館:「まちだ★こどもフェスタ」において、廃材を利用したおもちゃ作成を実施し、親子のふれあいの機会を提供した。</p> <p>○室内プール:6~10月の期間に屋外スペースを「幼児テラス」と称して水遊び場を設置し、プールを利用できない乳幼児を対象に開放した。また、年2回無料公開イベント「プール祭り」を実施し、コミュニケーションの場を提供した。</p> <p>○サン町田旭体育館:野球場の外野部分を、親子などがボール遊びをする場として開放した。(1月~2月のみ)</p>				

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業				
取り組み内容	<p>・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。(例:体験イベント⇒定期イベント)</p> <p>・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。</p>				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	企画・実施	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
					2018年度
実施状況	企画・実施				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>現在は学校を拠点とした地域スポーツクラブの設立を目指し、各地域で話し合いを繰り返している状況であるが、設立に向けた一環として一部の地域では、地域の方を対象としたスポーツ教室を3回実施した。</p>				

番号	1-19		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。 				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回				
2014年度の具体的な取り組み内容	サン町田旭体育館に加え、こどもセンターつるっこ、こどもセンターぱお、ひなた村で実施した。				

番号	1-20		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			実施	
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。				

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	学校温水プールでの教室事業				
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討		→	実施	→
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	新たな教室プログラムの検討を進めた。				

番号	1-22		実施主体	指定管理者	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業				
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	2,226名	
			目標水準	2,500名	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	2,837名				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館：土曜日及び日曜日に勤労者バドミントン教室やアーチェリー教室、和弓教室を実施した。夜間プログラムとして、ボクササイズ、エアロビクスを毎週実施した。日曜日及び祝日開催のトレーニング室のプログラムを実施した。（延参加者合計2,468名）</p> <p>○室内プール：大会に参加することを目的に「マスターズクラス」の水泳教室を週2回、夜間に実施した。また、水中エアロ教室を6～10月の期間（8月除く）に週1回夜間に実施した。（延参加者合計320名）</p> <p>○サン町田旭体育館：体育協会加盟団体主催の卓球教室を実施した。（卓球実技指導員による基本技術の指導。）</p> <p>○野津田公園：成人の方を対象に体力測定の値を基に、現在の体力レベルや体力特性を自己評価できるようなプログラムを講義と実技の組み合わせで実施した。また、日常行えるトレーニングやエクササイズや家庭でもできる体力向上の実践方法についても学習する機会を提供した。月2回、9月～12月の年間計8回開催。（延参加者合計49名）</p>				

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	高齢者スポーツ普及事業				
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動をする者に対し、用具の貸与を行う。				
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件	
			目標水準	8件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	6件	→	7件	→	8件
実施状況	6件	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	新たにグラウンドゴルフを始める老人クラブ6団体に、グラウンドゴルフ用具の貸与を行った。				

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業				
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。				
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人	
			目標水準	500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	460人	470人	480人	490人	500人
実施状況	423人	/	/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	下肢運動機能やロコモティブシンドロームの危険性を測定する「転倒予防！歩く力測定会」を12高齢者支援センターに委託し、18回実施した。				

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。				

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	〔再掲〕スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。 				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回				
2014年度の具体的な取り組み内容	サン町田旭体育館に加え、こどもセンターつるっこ、こどもセンターぱお、ひなた村で実施した。				

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ大会				
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。				
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回	
			目標水準	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回				
実施状況	年1回				
2014年度の具体的な取り組み内容	2014年11月3日に、町田市立総合体育館で開催し、およそ1,000人の参加があった。				

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい児スポーツ教室事業				
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。				
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上	
			目標水準	年30回以上	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年30回以上				
実施状況	年35回				
2014年度の具体的な取り組み内容	体育館、プールの2箇所で、それぞれ35回の教室を開催した。				

番号	1-29		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。				
事業目標	指標	新たな教室の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→
実施状況	一部実施				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館：年1回障がい者卓球教室を実施した。参加者数34名。</p> <p>○サン町田旭体育館：体育館まで通える障がい者を対象に卓球教室を実施した。</p> <p>○野津田公園：障がいのある方が、陸上競技を通じて身体を動かす楽しさや喜びを実感し、運動習慣づくりになることを目的に教室を実施した。季節ごとに年4期計32回開催。参加者合計330名。</p>				

番号	1-30		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。				
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→
実施状況	調査				
2014年度の具体的な取り組み内容	○室内プール：2名の職員が初級障害者スポーツ指導員の資格を取得した。				

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。				

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。				
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数	計画初期値	2箇所	
			目標水準	10箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—
実施状況	1箇所				
2014年度の具体的な取り組み内容	クラブハウスを1箇所整備した。クラブハウスの整備は1箇所にとどまったが、地域スポーツクラブ設立に向けた動きが複数校で展開されている。しかし、クラブハウスを整備可能な面積を有する学校は少なく、地域スポーツクラブ設立がクラブハウス整備に必ずしも直結しない状況である。				

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。 				
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数	計画初期値	11,000人	
			目標水準	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人
実施状況	計画				
2014年度の具体的な取り組み内容	従来の学校開放委員会からの備品要望に加え、地域スポーツクラブの設立を目指す学校に対しての助成について検討していく。				

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備					
事業名	スケートパーク整備事業					
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。					
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討		計画初期値	—	
				目標水準	検討	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討					
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	ルールづくりや管理運営の方法の検討のために、他自治体の事例を研究した。					

番号	2-4		実施主体	公園緑地課		
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備					
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業					
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。					
事業目標	指標	芝生の整備		計画初期値	—	
				目標水準	検討	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討					
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	芹ヶ谷公園再整備基本計画の中で、ダスト舗装の多目的広場再整備について検討した。					

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	高架下スペースのスポーツ利用					
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。					
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備	計画初期値	—		
			目標水準	1箇所		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				→	1箇所
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	小山沼陸橋の地元の町内会と、スポーツ利用の形態、整備の内容、管理方法等について調整を行った。					

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	法政スポーツ教室事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。 ・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。 					
事業目標	指標	延べ参加者数	計画初期値	233人		
			目標水準	250人		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	240人				→	250人
実施状況	282人					
2014年度の具体的な取り組み内容	教室情報を広報まちだに掲載するとともに、市公式ホームページにも新たに掲載し、普及を図った。					

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業					
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。					
事業目標	指標	年間利用率	計画初期値	47%		
			目標水準	70%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	50%	55%	60%	65%	70%	
実施状況	48.1%					
2014年度の具体的な取り組み内容	利用率向上のため、広報まちだやホームページを利用し、団体登録者数を増やすことで利用率の向上をはかった。					

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	大学連携推進事業					
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。					
事業目標	指標	市と連携協力している大学数	計画初期値	2大学		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討		協定締結 実施			
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計について検討を進めた。					

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進					
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。 ・クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。 					
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体		
			目標水準	20団体		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)	
実施状況	新規1団体					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>学校開放運営委員会や各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立に向けての説明会を行った。また地域スポーツクラブ設立準備に向け、事業運営補助を1団体に実施した。地域スポーツクラブとして正式に設立された団体は1団体のみだが、これに加え、学校を拠点としたスポーツクラブの設立準備を行ってくださっている学校が2校、そして独自にスポーツクラブの設立準備をしている団体が1団体あった。</p>					

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	まちだニュースポーツ推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。 ・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画・検討		実施			
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>ニュースポーツの研究の一環として、スポーツ振興課職員によるキンボール体験会を実施した。</p>					

番号	2-11		実施主体	ひなた村		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	キンボールスポーツ事業					
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。					
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校	計画初期値	10校		
			目標水準	15校		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	11校	12校	13校	14校	15校	
実施状況	10校					
2014年度の具体的な取り組み内容	学校や子ども会からの要請で10校14回学年行事、また夏のサマースクールで実施した。					

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結					
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	制度設計・調整		新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計について検討を進めた。					

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会	
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員登録制度事業				
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。				
事業目標	指標	登録制度の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。				

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計の検討を進めた。				

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人
実施状況	2,000人				
2014年度の具体的な取り組み内容	各種イベント(庁内各課での主催イベントの他、ホームタウンチームホームゲームや市内の清掃活動やマラソン大会等)への「まちだサポーターズ」の活動調整を行った。来年度以降も楽しく参加していただけるような工夫を行う。				

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。 				
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		維持管理計画策定	施設維持・修繕	
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	屋外スポーツ施設を所管する部署間で施設の現状と課題について、情報共有を行った。				

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。 ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。 ・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。 ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。 				
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事
実施状況	決定				
2014年度の具体的な取り組み内容	今後のスポーツ施設の役割・類型を整理し、スポーツ施設のあり方を明らかにした。				

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	利用種目の見直し				
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。				
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			→	実施
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	見直し内容の検討を進めた。今後は、利用市民からの要望を集計し、どのような種目への利用要望が多いのかを確認した上で、実際の当該種目の利用の可否を指定管理者とともに検討していく。				

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充						
事業名	ホームタウン活動マッチング事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 						
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数	計画初期値	70回			
			目標水準	140回			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			80回	90回	100回	120回	140回
実施状況			139回				
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>ホームタウンチームと連携が可能な市主催事業をチームに紹介することで、マッチングを行った。</p> <p>実施状況の内訳は、FC町田ゼルビアが133回、ASVベスカドーラ町田が2回、キャノンイーグルスが4回となっている。FC町田ゼルビアはクラブ側の努力もあり、大幅に回数を伸ばしている。キャノンイーグルスはジャパンラグビートップリーグ公式戦の町田市初開催の影響で、0回から4回と数字を伸ばした。ASVベスカドーラ町田は、選手の大多数がアマチュア契約であることから、地域貢献活動に割く時間的ゆとりがなく、苦戦している。</p>						

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	市内小・中学校との連携促進						
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。 						
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数	計画初期値	54回			
			目標水準	150回			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			60回	80回	100回	120回	150回
実施状況			58回				
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・FC町田ゼルビアの出前サッカー教室を市からの委託業務として支援した。計54回116コマを実施し、3,624人の児童・生徒が参加した。 ・キャノンイーグルスの主催するラグビー教室を、学校とマッチングを行い、市内で初めて実施した。計2回、104名の児童・生徒が参加した。 ・FC町田ゼルビアがスポーツ栄養学講座を計4回実施し、講座に対して支援を行った。 						

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	計画初期値	69,503人	
			目標水準	17万人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			8万人	10万人	12万人
実施状況	70,345人				
2014年度の具体的な取り組み内容	町内会・自治会に対してFC町田ゼルビアの観戦招待を、キャノンイーグルスの観戦チケットの斡旋を行った。また、町内会・自治会、学校等にホームタウンチームの試合に関する開催周知を行った。				

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	計画初期値	1,740人	
			目標水準	2,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			2,100人	2,200人	2,300人
実施状況	2,342				
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> FC町田ゼルビアのホームゲームにおいては、同クラブ独自のボランティアも含めて2,168名と堅調に推移した。既に運営に必要な人数が充足している状況であり、希望者が募集枠を上回っている。 ASVペスカドーラ町田のホームゲームにおいては、108名が活動を行った。 キャノンイーグルスの所属するジャパンラグビートップリーグ公式戦においては、68名が活動を行った。 				

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保					
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用率を拡大し、ホームタウンチームの利用率も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		検討	→ 実施			
実施状況	検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	ホームタウンチームがホームゲームを開催する際の施設利用料の支出状況について、その実績値を調査するとともに、Jリーグ等のホームタウンチームを保有する全国の自治体に対して照会を行い、施設利用料の減免状況や練習場確保の際の支援等についての情報を収集した。					

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	サポーターの拡大					
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 					
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム 合同による連携活動の取 組み数	計画初期値	—		
			目標水準	3回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		連絡会の開催	1回	2回	3回	3回
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共 同企画実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・FC町田ゼルビアとASVペスカドーラ町田が協議を行い、相互のホームゲームの日時が重複しないように調整を行うなど、双方にとってメリットの大きい分野から具体的な連携をスタートさせた。 ・FC町田ゼルビア後援会が旗振り役となり、FC町田ゼルビアのホームゲーム会場からASVペスカドーラ町田のホームゲーム会場へアクセスする直行バスを運行することで、双方の試合の観戦者数増大に繋げる取り組みを実施した。 					

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進					
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業					
取り組み内容	<p>・ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。</p> <p>・ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。</p>					
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施		
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	事業内容設計	実施			→	
実施状況	事業内容検討 一部実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>・FC町田ゼルビアの2015シーズン開幕に合わせ、町田市として初めて「FC町田ゼルビア応援ウィーク」「職員ユニフォームデー」等を開催するとともに、町田駅前ペDESTリアンデッキの一斉ジャックや野津田公園西口・北口のウェルカムゲート設置など、ホームスタジアムの雰囲気醸成する取り組みを実施した。</p> <p>・キヤノンイーグルスの所属するジャパンラグビートップリーグ公式戦開催時にも、町田駅前ペDESTリアンデッキの一斉ジャックや野津田公園西口・北口のウェルカムゲート設置、観戦者の動線へののぼり旗掲出などを行い、雰囲気醸成に取り組んだ。</p>					

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部			
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致						
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加国や関係各所への招致活動を行う。 選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 						
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		計画初期値	—		
				目標水準	招致		
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	招致活動						
実施状況	招致活動						
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンラグビートップリーグの会場などで、キャンプ地招致気運醸成のためのPR活動を実施した。 ・東京都及びブラジルの視察を受けた。 ・東京都及び組織委員会が開催する説明会へ出席し、情報収集を進めた。 						

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課			
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致						
事業名	全国大会等誘致事業						
取り組み内容	<p>各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会等 						
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—		
				目標水準	大会開催		
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動 大会開催						
実施状況	誘致活動 大会開催						
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>ラグビートップリーグ公式戦及び関東大学ラグビー対抗戦・リーグ戦、全日本大学サッカー選手権大会、プロバスケットボールbjリーグ、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会を町田市で初めて開催した。次年度に向けて引き続きの開催を調整するとともに、バドミントン日本リーグ一部リーグの誘致を進めた。</p>						

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催	計画初期値	—		
			目標水準	大会開催		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		誘致活動 大会開催				
実施状況	誘致活動 大会開催					
2014年度の具体的な取り組み内容	2014年12月28日に町田市では初めて、ジャパンラグビートップリーグの公式戦キャノンイーグルス対東芝ブレイブルーパスを陸上競技場で開催した。観客数3,609人。2015年度の開催について調整した。					

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館の得点表示板の更新を行う。 ・総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 ・室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。 ・室内プールの電光表示システムを更新する。 ・総合体育館に大型映像装置を整備する。 ・陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備	計画初期値	—		
			目標水準	整備		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	総合体育館大型バス乗降場の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設設計、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計、陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事、陸上競技場観客席増設工事
実施状況	実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館：バスケットボール、バレーボール、バドミントン、フットサル競技で利用できる得点表示装置を設置した。</p> <p>○室内プール：50メートルプールの公認申請(更新)を行った。コースロープの更新、競技システムの改修を行った。また、会議室壁面に鏡を設置し、ダンスやヨガ等のスタジオとして利用できるように改修した。</p>					

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化					
事業名	体育協会等との情報共有の強化					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。 					
事業目標	指標	体育協会との業務連携	計画初期値	実施		
			目標水準	強化		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	優先受付取扱基準の見直しの検討、各団体からの要望への対応検討・実施		施設利用優先受付業務の実施・改善			
実施状況	優先受付業務実施・見直し検討					
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会に業務委託し、スポーツ施設優先予約の調整を実施した。 ・毎月定例で体育協会事務局との打合せを行い、情報共有・連絡調整を密にした。 					

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—		
			目標水準	1,200人		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人		750人	900人	1,050人	1,200人
実施状況	2,000人					
2014年度の具体的な取り組み内容	各種イベント(庁内各課での主催イベントの他、ホームタウンチームホームゲームや市内の清掃活動やマラソン大会等)への「まちだサポーターズ」の活動調整を行った。来年度以降も楽しく参加していただけるような工夫を行う。					

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	大学との協定の締結[再掲]				
事業名	〔再掲〕スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。				
事業目標	指標	市の事業と連携する 大学数	計画初期値 目標水準	— 3大学	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)
実施状況	検討				
2014年度の具体的な取り組み内容	制度設計について検討を進めた。				

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。				
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値 目標水準	1大会 2大会	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	2大会	→			
実施状況	2大会				
2014年度の具体的な取り組み内容	毎年陸上競技場で開催している関東身体障害者陸上競技選手権大会に加え、2014年8月には初めて、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会を総合体育館で開催した。				

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマスメディアへの積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 					
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数	計画初期値	年1回		
			目標水準	年3回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回		年2回		年3回	
実施状況	企画					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>スポーツアワード受賞者を単に受賞者として終わらせるのではなく、地域とのスポーツを通じた交流等を通じて、市民に親しまれる『町田のアスリート』として啓発していく企画を検討した。</p>					

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業					
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	イベント実施					
実施状況	実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館：総合体育館をホームとするフットサルチーム「ASVペスカドーラ町田」が行うフットサルスクールやチアリーディングスクールを実施した。延参加者数6,013名。</p> <p>○総合体育館：こどもの日(5/5)に「マッスルミュージカル」としてアスリートによるパフォーマンスを実施した。また、定期的にペスカドーラ町田の選手との交流事業としてサイン会・写真撮影会を実施した。</p> <p>○成瀬クリーンセンターテニスコート：体育の日(10/11)に4歳から大人まで年齢ごとに分け、プロテニスプレーヤーを招きテニスクリニックを実施した。参加者合計193名。</p> <p>○野津田公園：元オリンピック選手を講師に迎え、運動会やマラソン大会などを目指す小学生(主に3～6年生)や専門的な知識を得たい中学生をターゲットとし、年間5クール計38回教室を実施した。高齢者から主婦層を対象に、ジョギング・ランニングを通して、身体を動かす楽しみやスポーツに親しむ機会を提供した。年間4シリーズ計38回教室を実施した。参加者合計2,755名。</p>					

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	表敬訪問事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 				
事業目標	指標	表敬訪問実施数	計画初期値	25回	
			目標水準	35回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回	→	30回	→	35回
実施状況	17回				
2014年度の具体的な取り組み内容	表敬訪問の受け入れ方法・周知方法を検討した。				

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。 				
事業目標	指標	祝金支給件数	計画初期値	85件	
			目標水準	150件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件	120件	130件	140件	150件
実施状況	90件				
2014年度の具体的な取り組み内容	支給要綱を見直し、より広く市民に支給できるよう改正を行った。				

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課			
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進						
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチーム応援ツアーの企画 旅行代理店へのPR 						
事業目標	指標	ツアー実施	計画初期値	—			
			目標水準	実施			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施						→
実施状況	実施						
2014年度の具体的な取り組み内容	2014年12月28日に市立陸上競技場で開催されたラグビートップリーグ「キヤノンイーグルス」対「東芝プレイブルーパス」戦の観戦ツアーを実施した。						

番号	5-2		実施主体	公園緑地課			
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備						
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業						
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。						
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数	計画初期値	—			
			目標水準	2箇所			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	用地測量			都市計画決定用地買収	基本設計 実施設計	整備	
実施状況	用地測量						
2014年度の具体的な取り組み内容	拡張区域の都市計画決定や用地取得に必要な資料を得るため、当該地の用地測量を実施した。						

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市民マラソン等の活性化					
事業名	武相マラソン大会支援事業					
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。					
事業目標	指標	参加者数	計画初期値	2,000人		
			目標水準	3,000人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		2,500人	→ 2,750人	→	3,000人	
実施状況	1,700人					
2014年度の具体的な取り組み内容	2014年度大会についてはホームページのみだったが、2015年度大会の参加者募集については、ホームページに加え、広報まちだへ掲載した。					

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ユニバーサルデザインの推進					
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事 					
事業目標	指標	改修工事実施施設数	計画初期値	—		
			目標水準	3施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曾中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修		
実施状況	検討・一部実施					
2014年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館：障がい者用トイレの押しボタンを改良し、センサーによる人感知システムにより誤作動が無くなるよう改修した。 ○室内プール：2階一般女子トイレを和式から洋式へ改修した。(3箇所) 					

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツフォーラム活性化事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施 					
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		見直し 実施	→	
実施状況	検討	/		/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	見直し内容の検討を進めた。					

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業					
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。					
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築		計画初期値	—	
				目標水準	構築・稼動(2015年度)	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の 検討	ポータルサイトの構築・稼動		運用	検証	運用改善 実施
実施状況	検討	/		/	/	/
2014年度の具体的な取り組み内容	サイトの乱立や情報の偏在を防ぐため、学習情報だけでなく地域情報全般を発信するポータルサイトを構築できるよう、関係機関との協議・検討、先進自治体の調査を進めた。					

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習NAVI					
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。					
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数	計画初期値	65施設		
			目標水準	100施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
					65施設	100施設
実施状況	96施設					
2014年度の具体的な取り組み内容	生涯学習NAVIを4回発行し、市民が参加できる講座・講演会、イベント等の情報を幅広く発信した。また、より多くの方に手に取ってもらえるよう、民間施設も含めて配布場所を増やした。					

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。 ・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。 ・情報誌「スポまち キッズ！」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。 ・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。 					
事業目標	指標	ホームページでのアスリート情報発信件数	計画初期値	134件		
			目標水準	190件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
					150件	160件
実施状況	128件					
2014年度の具体的な取り組み内容	<p>ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を下記的手段で発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへのアスリート活動情報の掲載：128件 ・広報まちだへホームタウンチーム情報の掲載：計2回(シーズン前、夏季) ・まちビジョンへの掲載：毎月 ・シティセールスコーナーへのホームタウンチーム試合結果・大相撲結果の掲載：全試合・全場所分 ・ホームタウンチームのポスター・チラシの配布：各公共施設・小中学校・町内会自治会 ・「スポまち キッズ！」の発行：年4回 					